

第1回大和高田市立総合体育館建設基本計画策定委員会会議録

開催年月日 令和4年5月30日（月）
開催場所 大和高田市役所5階会議室7
出席者 蓬田高正、西川義久、正木秀幸、島田好男、龍節子、田中政敏、杉田宗義、
生島俊夫、浅野誠、疋田哲也
田中義久（総務部長）、作田敦嗣（環境建設部長）、小野勝義（営繕課長）、
下村和巳（地域振興部長）、谷川和祥（スポーツ振興課長）、
小川浩司（スポーツ振興課参事）
内 容 第1回大和高田市立総合体育館建設基本計画策定委員会

1. 開会
2. 委嘱式
3. 市長あいさつ
4. 第1回委員会

○委員長・副委員長の選出について

委員長・蓬田高正氏、副委員長・西川義久氏の承認を得る

○業務内容の説明

大和高田市幸町にある大和高田市立総合体育館は、1982年（昭和57年）にオープンし、今年で開館から40年を迎える。老朽化に伴い、昨今では雨漏りや配管設備や備品等の補修が著しい状態である。これらを踏まえ、直近5年間で建替え検討が行われた。結果として、スポーツ活動の充実の観点から、大和高田市西坊城にある総合公園敷地内に体育館を移設建築することで、プール・テニスコート・グラウンドを含め、緑豊かなスポーツのための空間を形成することが可能であるため、総合公園内への建替え案を選定した。

これから先の建替えにあたり、令和4年度においては、体育館の規模や館内の設備、運営方法などを、本委員会で決定し、大和高田市立総合体育館建設基本計画を策定していく。

○今後のスケジュールについて

別紙参照

○その他

【質疑応答】

(委員質問)

委員会の進め方として、事務局が考える規模・予算などの目途があり、それらを提示されてから委員会で話し合い、ベースとなる建物を考えていくのか、それともゼロから全てを考えるのか

(事務局回答)

基本はゼロベースである。基本計画策定業務にかかる事業者が、市民アンケートの結果を踏まえ、現在の体育館の機能を盛り込んだベースとなる計画案をまずは提示し、用途の可否等について検討していくことを予定している。また、提案された意見を審議し、盛り込んでいく。ソフト面を充実させていくと、内容により面積も変わると考えられるため、それらも含めて検討していただきたい。

<環境整備部長からの補足説明>

公園整備の補助金（1／2補助）を使っていくことを想定している。補助を受けるには制限があり、現在の体育館と同等の面積であれば、公園内に建築可能と担当課に回答している。

(委員質問)

委員会で提案された内容は、すべて採用されるのか、またその割合は

(事務局回答)

可能な限り採用できるように検討していくが、提案内容のすべてを盛り込むのはかなり難しいとは考える。提案された内容を吟味し、そのままでは採用できない案であっても、採用するためにはどのように変えればよいか話し合い、また採用できない場合は、なぜ採用できないかを説明したいと考える。

(委員質問)

現在の武道館の機能も移転するのか

(事務局回答)

現時点では、移転先の体育館は、武道館の機能も持たせると考えている。

(委員質問)

体育館の建替え費用はどれぐらいと考えているか

(事務局回答)

参考として、事前に視察した門真市の体育館は、用途・面積共に本市と似ていることから、これと同等のものを作れば、門真市の実績上、35億円ぐらいになるかと思われる。しかし、資材費等が高騰しているため、建築費用は想定したものより高額になると考えられる。

なお、令和3年2月に提出された建替検討業務報告書においては、総合公園に

移転新築された場合は、約52億円かかるとされている。

(委員質問)

ソフト面を充実させるのであれば、今後の運営は指定管理となるのか

(事務局回答)

検討課題であり、委員会で話し合っていきたいと考える。

(委員質問)

委員会で決定された内容をまとめ、基本計画を議会に提示した結果、議会で否決されることはないのか

(事務局回答)

計画は委員会で十分審議されたものであり、なおかつ市民の意見を反映したものであることから、否決されるとは考えにくい。

5. 閉会